

がん教育実施報告書

学校名	福島県立勿来工業高等学校
実施対象者 (学年・保護者など)	3学年 全クラス (計4学級)
教育課程の位置づけ	体育・保健体育 道徳 学級活動・HR活動 講演会・行事 その他 ()
実施日時	令和 5年 12月 8日 (金) 13:45 ~ 14:30
打合せについて	【1回目】方法：メール 内容：学年への質問等
	【2回目】方法：来校(対面) 内容：テーマや内容、配慮事項等
外部講師 職・氏名	職名 特定非営利活動法人がんピアネットふくしま理事 氏名 箭内 明美
実施内容	<p>講演会テーマ【がんとわたし】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己紹介 がん体験談 <ul style="list-style-type: none"> 講師ご自身の体験をもとに、宣告されたときの思い、将来への不安、治療の苦労や一生続く外見の喪失感など、当事者の辛さを知ることができた。 がんピアサポートサロンとの出会い <ul style="list-style-type: none"> がんへの不安、治療の辛さなどを堂々と話せ、分かち合える場があることが理解できた。またがんサロンのネットワークは福島県全体に広がっており、困った時には相談できる場所があることを知ることができた。 がんの予防について <ul style="list-style-type: none"> がんを予防・早期発見するためには正しい生活習慣を身につけること、定期的ながん検診を受けることが肝要であることを改めて確認することができた。 がんの正しい情報の収集とがんと共生について <ul style="list-style-type: none"> インターネット上には正誤様々な情報が氾濫しているため、国立がん研究センター情報サービス等、正しい情報源から情報を得ることが大切であること、現在は2人に1人が生涯でがんになると言われており、がんと共生者は増えていること、また自身ががんになった時には相談できる場所があり、身の回りの人ががんになった時はいつもと変わらず思いやりをもって接することなど今後の生徒にとって大切なことを学ぶことができた。

成 果 等

- ・講師の方には打ち合わせの時から丁寧な説明とご対応をいただき、講演の内容も大変分かり易くまとめていただいていた。
- ・生徒からは「自分には関係のない話だと思っていたが、がんは突然にかかってしまう病気であることで、自分にもあり得る話なのだとわかった」「卒業後、社会人になった時にがん検診は忘れずに行こうと思った」「もしがんになったとしても、相談できる場所があることを知った」「たばこ等がんのリスクとなり得る生活習慣は、今後も避けるようにしたい」「身近にがんにかかってしまった人がいたら、相談できる場所があることを伝えて、思いやりをもって接したいと思った」等の感想が聞かれた。